

国立情報学研究所におけるサービスシステムの オープンシステム移行計画について

目録所在情報サービス及び情報検索サービス用の計算機システムのオープンシステム化については、以下のように実施する計画である。

リプレース時期	サービス		計算機システム	備 考
	メイン フレーム	オープン システム		
平成 8 年 1 月 (オープンシステムへの移行のためのシステム)	目録所在情報サービス 情報検索サービス	目録所在情報サービス 情報検索サービス	メインフレーム + オープンシステム	目録所在情報サービス データベースのサーバ移行 新 CAT システムの開発・サービスの開始 新 CAT/ILL サービスへの誘導 (対メーカ, ユーザ) 新 CAT/ILL への移行状況調査 多言語対応システムの開発 サービス時間の延長 情報検索サービス データベースのオープンシステムへの移行 新情報検索システムの開発 新情報検索サービスの開始 通信手段 ・PPP接続 (電話回線からのアクセス確保) ・N1接続の実態調査及び廃止
平成 12 年 1 月 (現行システム) (オープンシステム化完成のためのシステム)	目録所在情報サービス	目録所在情報サービス 情報検索サービス	メインフレーム + オープンシステム (メインフレームの規模は縮小)	目録所在情報サービス 新 CAT/ILL サービスへの誘導 (対メーカ, ユーザ) 新 CAT/ILL への移行状況調査 多言語対応システムの整備 サービス時間の延長 旧 CAT/ILL の廃止 情報検索サービス 新情報検索サービスの正式運用開始 ・24時間運用 通信手段 学術情報ネットワークパケット交換網の廃止 (平成 13 年度末まで) ・V T S S 接続の実態調査及び廃止
平成 17 年 1 月 (完全オープンシステム)		目録所在情報サービス 情報検索サービス	オープンシステム	目録所在情報サービス ・24時間運用の検討